

れいがくおおやま

#3 霊岳大山

作者：石田光治郎（いしだ・みつじろう 1876-1962）

刊行：大正6年（1917）



📖 解題

■ 内容

本書は、厚木中学校（現・神奈川県立厚木高等学校）の博物科教諭であった著者による大山案内記である。

構成は、「第一 大山の地理」、「第二 大山の神社」、「第三 大山の仏閣」、「第四 大山の信仰と迷信」、「第五 大山の名木霊樹」、「第六 大山の順路」、「第七 大山の名産」、「第八 大山の便覧」、

「第九 大山登山の心得」、「第十 大山の文学」、「第十一 大山山麓の名勝古跡」、「附録 大山産植物総目録」からなる。巻頭には、小林房太郎（地理学者）による序文、凡例、36万分の一地図「大山付近地図」を付す。本文124ページ、附録25ページ。

凡例に「本書を編するに当り、勉めて文飾を避けて、専ら事実の叙述に意を注げり」とあるように、「第八 大山の便覧」において大正6年（1917）時点の大山の戸数、人口、先導師職75人の氏名、蓑毛口先導師職8人の氏名、旅館、物産販売業等の一覧を載せており、大山の地誌として貴重な記録といえる。

「附録 大山産植物総目録」にはシダ類以上の植物817種が記録されており、厚木市の野生植物に関する組織的な記録として最初のものでされている。目録の末尾には牧野富太郎、神奈川県博物調査会員、横浜植物会員への謝辞がある。



[K291.64/14A]

第1章 地理・案内記

当館所蔵の資料は複製である（奥付なし）。原本は、国立国会図書館、横須賀市立中央図書館、名古屋市鶴舞中央図書館、国立科学博物館、信州大学附属図書館で所蔵が確認できる。

■ 作者

作者は静岡県出身の石田光治郎。静岡師範学校卒業後、明治36年(1903)より厚木中学校博物科教諭として約20年間在職し、その後、愛知県愛知中学校へ転任した。大正6年(1917)に養子縁組により鈴木に改姓。神奈川県博物調査会や牧野富太郎が指導した横浜植物会に所属し植物研究を行った。石田の植物標本としては、明治33年(1900)から大正10年(1921)に採集した129点が残されている。昭和8年(1933)に神奈川県下初の植物目録である『神奈川県植物目録』が刊行され、石田も調査委員として関わった。平成7年(1995)、厚木高校生物準備室より、明治23年(1890)から昭和26年(1951)に採取された植物標本が発見され、厚木市教育委員会において1436点の整理がなされた。これらの標本ラベルに「石田光治郎」の名が確認されている。

参考文献

<復刻>

「霊岳大山」(『神奈川県郷土資料集成 第9輯 案内誌篇』神奈川県図書館協会郷土資料編集委員会 1978) [K08/1/9]

『武相案内誌』神奈川県図書館協会郷土資料編集委員会 1978(神奈川県郷土資料集成 第9輯) [K291/311]

<参考文献>

諏訪哲夫「V. 植物に魅せられた人たち」(『厚木の植物 1996/植物に魅せられた人たち』厚木市教育委員会 1996) [K06.92/18/5]

諏訪哲夫「『厚木の植物 1996』展 その見どころ よみがえる 100年前の植物標本！」(『郷土資料展示室だより』no. 25 厚木市教育委員会 1996) [ZC/888]